

藤間秋男の 100年企業創りレポート

●今月の経営テーマ “ビジョン実現に向かって前進しよう!”

ビジョン実現に向かって前進することで次のようなメリットがあります。

- ①社内が活気にあふれます
- ②一人ひとりのモチベーションが上がります
- ③仕事に対する使命感が高まります
- ④ビジネスチャンスが広がります
- ⑤お客様に喜んでいただけます

株式会社コスモ教育出版『理念と経営』カレンダーより



(1) なぜ、経営理念の確立と浸透と毎月の経営行動計画、
も立てないのですか?

TOMAグループは16年前の20期の売上を100%とすると
25期150% 30期200% 35期300% となっており、
それは、経営理念を確立し浸透させ、毎月の経営行動計画と
して、毎月でできたことを反省し、たかじめる
経営理念に反しなければ、社員を信じて任せている
幹部や社員が成長しているからです。

今すぐ、経営理念を浸透し、確立し、浸透させませんか!

又、経営行動計画をきちんとし、毎月反省しませんか!

TOMAコンサル部に 至急 おたずね下さい。

業績が悪いのは、この1ヶ月のパターンができていないからです。

(2) 利益を追わなくなるとなぜ会社は苦しくなるのか。

2月20日14:00~16:40 坂本光司先生を講師にお迎え

その本話をうかがいます。(是非お申し込み下さい。)

①経営者一人の力には限界があるという現実としっかり向き合う。

日進月歩で世の中変わっている状況で、自分では限界がある。

②特に中小企業の場合は、上意下達的な経営はダメ

全員参加型の経営に変わっている。聞く耳を持つ社員

から尊敬される経営者になります。何でも言える組織風土。

③そして、経営者の分身として育てた子孫の王様になる。

④経営者の仕事は、社員のモチベーションを高めること。

営業だけ、コスト削減と回るとか銀行に行くとかは経営者

本来の仕事ではありません。それでは社員が育ちません。

⑤経営者の仕事は3つ ①どこへ行くか方向を定める ②やりか
かりを決める ③社員のモチベーションを高める
④社員のモチベーションを高めるには、自分が示した方向、それ
に対して、全従業員が全責任を、価値ある仕事に
取り組む。そして、よい環境を整えるというのが
経営者にとって一番大切な仕事です。

(社員のモチベーションを上げていきます。)

(3) 生きているだけで大儲け、さんまさんの座右の銘

(新さんま論 伊藤豊)

1985年に起きた日本航空墜落事故の時、その便で大阪へ
向かう予定だったのが、収録が予定より早く終わるため
前の便で大阪へ行くことになった。運命と言えは、それまで
だが、多くの方が犠牲になったことに、さんまさんは
大きなショックを受けたと語っています。

「54年も無事な生きたこと、芸能生活36年。これ
宝くじ3回当たったといふじやないんでは。その
ラッキーさを感謝しないと……」明石家さんま。

娘のIMARUさんの命名の由来がそれです。

(常に、おかげのことに感謝ですね)

(4) 「天職」は英語に「コーリング(calling)」(井垣利夫)

コーリングとは「神様が口ずかした」という意味です。

「天職を探したい」と言っている人は、転職を繰り返して

いる人か、あるいは、天職というものを探さなくてもいい

仕事の神様が、呼んでもいないで、勝手に選んでくれている。

(今の仕事を深掘りして、仕事の神様が呼んでもいます。)

(5) 今のTOMAに欠けているもの「スピード」と「徹底」

日本電産で置かれた会社へ派遣川原氏の言葉(北田修一)

①日本電産の永守社長「すごいね、必死だね、頑張るからね」

(TOMAグループでは「すごいね、必死だね、頑張るからね」が

まったくできていません。今後の課題です。)

②M&Aで、7年で単年度黒字とせよという好命で

人生の派遣されたところ

③会社再建のポイント「スポーツと徹底」

①意識改革

②スポーツ

③営業の機関車化 (営業部隊が機関車の矢張りしろ)

④タレントのコスト追求 (全社を引っ張っていく)

⑤損益の週次管理

⑥読書量と年収 (出世の法則 岸宣仁)

70レシマニト読書の調査

①高収入ほど読書時間が長い

②月間読書量も年収と正比例している。

③稼い人ほど分厚い本を讀んでいる。

⑦人と言えさせた人が幸せになる。(中井俊之×ルノカヨ)

「世の中は 他人を言えさせた人が 勝つ仕組みになっている」
(西田文郎)

①西田さんが言う「勝つ」というのは「成功する」「幸運になる」「幸せになる」

②世の中、夢や目標をもち、それに向かって努力し続けている人たちがたくさんいる。ところが同じようにがんばっていても成功する人と成功しない人があるのは

「言え」の存在にある。うまくいかなければ、自分を言えさせるしかありません。一方成功している人は、他人を言えさせる方法を常に研究し、実践しているから豊かで幸せな人生を手に入れたのである。

③音通の人は

①よくないことを言う人

②笑顔で接してくる人

③ほめてくれる人

④よく話を聞いてくれる人

⑤元気がでる「いい言葉」を言う人

⑥よく気がつく何かと世話をしてくる人

みんなと話を
させている

そして人を言えさせた

ぶんだけ

自分もいいことを

返してきている

(前掲も他言力のカタマリと思われ じつは社員・家族やお客様が言えにくくても本音で言えたりする。またまた)

あきでせうか

(8) 熱と言説 (北里策三郎が荒木寅三郎に言った言) 致知 2017 2月号

君、人に熱と言説があれば、何事でも成す。よく世の中が、行き詰まると言う人があつた、これは大いなる誤解である。世の中は決して行き詰まらず。もし行き詰まったものがあつた、それは熱と言説がなかつたのである。つまり

行き詰まりは本人自身で世の中は決して行き詰まらずである。

(9) 理念と経営の両立 (平成18年にスタートし、その時の売上100%、10年後に売上2倍に到達) 社長が学び続ける会社は成長します。

①理念の「理」は自然の理法、食は働く一人ひとりの思い。つまり理にかなった社長・幹部・社員の食生活。

②ササは、マニアルに超える力は、生きる力、生きる力、生きる力。

③「あきらめ」が始まって、それを感動と結びつける。ようすを「あきらめ」で

④「嫌な会社には取付しない」「社員数は最大28名まで」「日本一楽しい会社を目指す」(金子エト社長 嶋口慶彦名誉教授)

⑤社長のお客は社員 (中里中里スリム制作所) ⑥高橋セツ子社長

⑦信頼される安心感、チャレンジ精神を生む

⑧第一の判断は、3年間の20%の離職率が現在5%

⑨事後の百策よりも事前の一策 (田中徳太郎)

⑩トップの危機感が新しいビジネスをつくり発展させていく。

⑪良い会社には人間的にも鬼才がふくまれている (社長がいて、そこをひかして元気を注ぎ、真面目な社員がいる) (「理念と経営」11月号で学ぶ)

⑫「一千万」作業の繰り返いは、生産性は絶対にながさる。



今月の

元気が出る

言葉集

笑いの天才・松本人志の名言

100点は無理かもしれない。でもMAXなら出せるやろ

甘くて刺激があるのなんて恋愛だけや

人間に許された唯一の特権は笑うことや。笑いながら生きると言う事が人間としての証や。人は笑うために生きるんやで

未完成でも一生懸命やったら伝わるもんやなあ

そいつの良い所悪い所10個ずつ言えて初めて友達や!!

ノーマスのままじゃノーポイント

笑いは0円で作れる

人の見方はそれぞれ違うから批判なんか気にしない。最初から問題用紙が違うから解答も違うに決まっている

みんな俺を自信過剰だと言うけども、自分に自信持たな、どうすんねん

人生なんて楽しいもんやないや。だから楽しまなあかんねん

生きた人のなかで、いちばん笑い声を聞いた耳でありたい